

他県における高等学校の魅力化・特色化等について

	学校名	魅力化・特色化等の概要
多様性	兵庫県立阪神昆陽高等学校、特別支援学校 「インクルーシブ教育」	・高等学校と特別支援学校を同一敷地内に設置しており、両校の生徒が日常生活や学校行事、授業などを一緒に行う。共に助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定することにより、ふれあいを通じた豊かな人間性を育む。社会におけるノーマライゼーションを進展するための礎となる学校を目指す。
	佐賀県立太良高等学校 「重点評価枠の設置」	・学校経営ビジョンに①不登校経験のある者や発達障害のある者、中途退学者など様々な背景をもつ生徒が安心して学べる学校、②多様性を認め、他者を思いやる豊かな心を育む学校、を掲げている。 ・全日制高校で学ぶ意欲と能力のある不登校経験等者、発達障害のある者、高等学校中途退学者を募集する重点評価枠において、志願者が1倍を超えた。
	東京都立八王子拓真高等学校 「三部制導入校」	・午前を中心に学ぶ「Ⅰ部」、午後を中心に学ぶ「Ⅱ部」、夜間を中心に学ぶ「Ⅲ部」からなる定時制3部制。 ・各部の生徒は登校時間や学習活動の時間帯を選択できる。
行政からの支援	熊本県立高森高等学校 「公立高校初のマンガ学科」	・(株)コアミックス、地元の高森町の強力なバックアップを受けながら、漫画家になるために必要な専門知識や技術を身に付けることができる。 ・高森町からの支援「入学金・教科書代全額補助、通学費支援、学生寮の設置と運営(町営学生寮)、漫画制作環境整備、プロ漫画家・編集者の講師派遣」
	岩手県立伊保内高等学校 「行政とタッグを組んで特色化に取り組む学校」	・九戸村からの支援が充実しており、給食支援(無料提供)、村単独奨学金制度(高校15,000円)、医療費無料、バス通学助成、通学費助成、公営塾の運営を村が行っている。 ・定員充足率83%、県外最大入学者数(4人)を充足。 ・生徒による活動(伊高むらおこし会社、郷土芸能委員会、子ども読書会)。
地域をフィールドにした実践	京都府立京都すばる高等学校 「京都すばるデパート」	・仕入れから発注まで生徒が行う販売学習、オンライン販売やメタバースなどにも挑戦していく「京都すばるデパート」を開催し、起業やマーケティングなどの新たなビジネス体験を提供している。 ・また、私服を着用する「オフィス・カジュアルデー」を設定し、個性や多様性を尊重。
	福井県立武生商工高等学校 「武生商工デパート」	・学習して修得した簿記、実務計算、情報処理等全てを活用し「仕入れ・企画・販売・サービス、決算」等、商店の経営活動を一通り体験する模擬経営を行う。会社のような組織図で、全校生徒が社員として実践的な商業活動を学ぶ。
	愛媛県立長浜高校 「生徒が運営する水族館」	・水族館部が運営する水族館は、毎月第3土曜日に一般公開しており、1日で100～700名の来館がある。月に10回程度、地域の学校や施設から遠足での来館もあり、地域の環境教育の場になっている。平成26年にNHKの国際放送で、日本を代表する水族館として、全世界に放送された。 ・地域みらい留学R4年11人、R5年18人、R6年21人と増加傾向にある。